



奈良女子大学は、現在のそして未来の女性研究者を応援しています

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」平成18年度採択課題



振興調整費

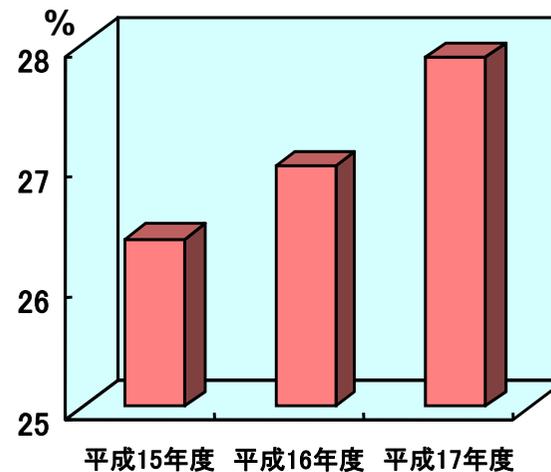
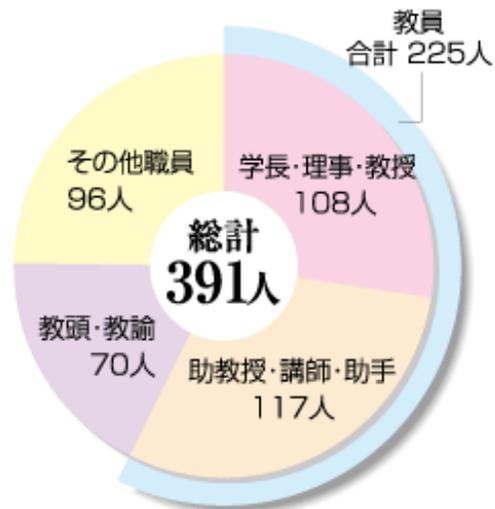
生涯にわたる女性研究者共助システムの構築

2008年12月8日
森林総合研究所シンポジウム
「ワーク・ライフ・システム構築への挑戦」

奈良女子大学 富崎 松代

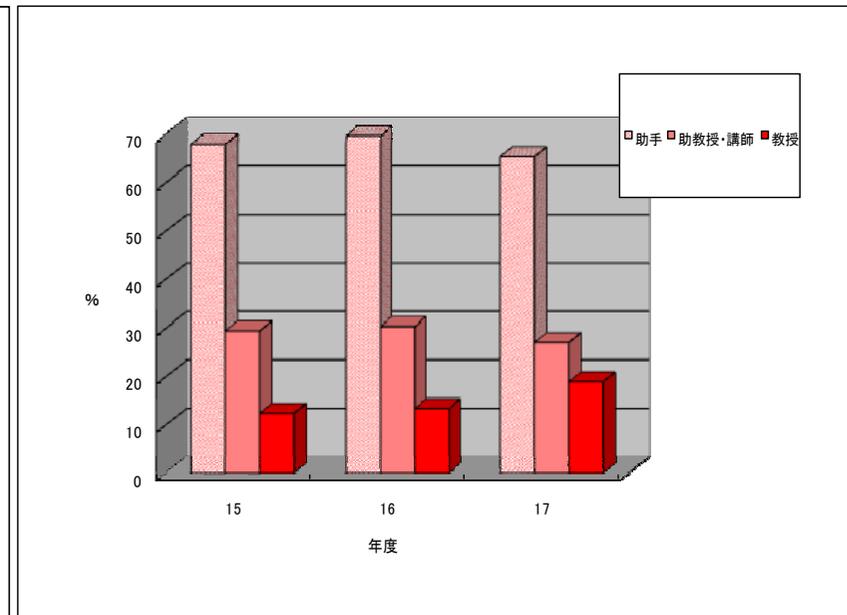
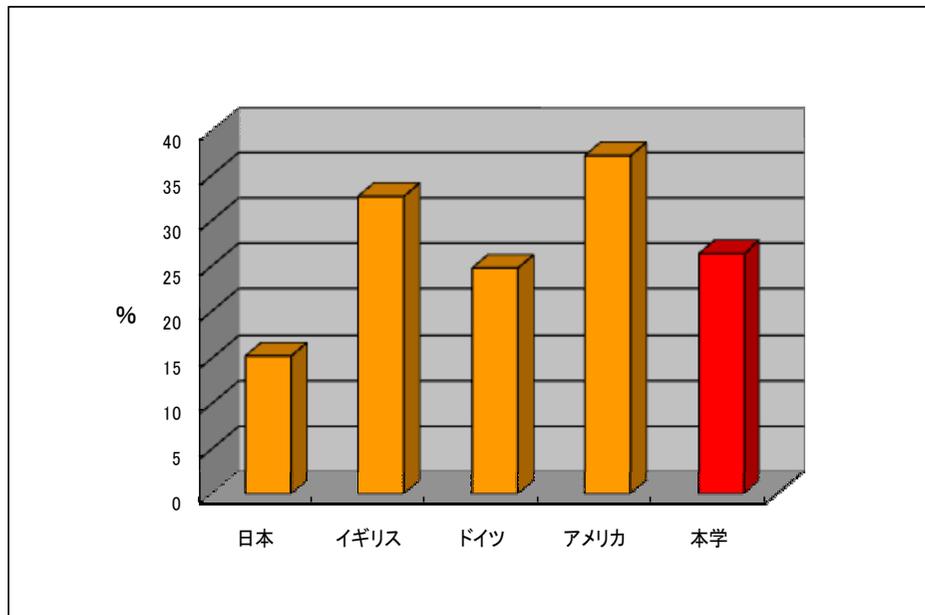


申請時の女性教員の比率



H17年度
27.9%

毎年増加
西欧先進諸国と同等
上位の職階で増加



「奈良女子大学における人事に関する基本方針」により積極的に女性教職員を採用

申請段階での検討課題

- ◆ 女性研究者の研究生活と家庭生活の両立支援に何が必要か
 - ・構成員の意識改革
 - ・学内の保育施設 学内ニーズ把握のために、アンケート調査を実施
- ◆ 大学院修了生に必要な支援は何か
 - ・博士後期課程修了者のキャリア継続のための支援
 - ・大学院修了者のチャレンジ支援・再チャレンジ支援
- ◆ 女性研究者の裾野を拡大させるには何が必要か
 - ・学生・院生と女性研究者の交流と情報交換、ロールモデル
 - ・研究キャリアパス形成 奈良県、奈良市との連携
- ◆ 女性研究者に対する相談体制の充実
 - ・出産・育児・介護の相談
 - ・女性の健康相談

「生涯にわたる女性研究者共助システム」の5つの活動

—地方の小規模女子大学で実施可能なこと—

女性研究者の両立支援

共助型子育て支援システム

教育研究支援員制度

多くの女性教員に対する支援
双方のキャリア形成・継続支援

キャリア形成・ 維持・向上への支援

女性学生—女性研究者交流
卒業生・修了生ネットワーク

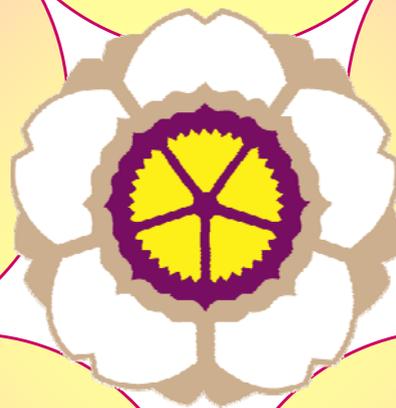
次世代の研究者育成事業

自治体と連携した科学普及活動

男女共同参画実現へ

向けた意識啓発活動

自治体と連携した推進活動



託児実施の可能性についての検討

・アンケート調査結果

二次保育(土日・祝日、大学行事中、学童保育後など)の充実を希望する声が多い
可能なら常時開設の保育施設が欲しいという意見も

・東北大学、日本女子大学、産総研関西センター等の保育施設を見学

(設立までの経緯や実状について関係者と面談、情報収集)

・平成19年熊本大学が実施した運営形態に関する調査結果より

大学直営、外部委託、社会福祉法人による運営、園運営委員会による運営などがある
いずれの場合にも、大学が負担する経費にそれほどの差はないと思われる
外部委託方式が、大学の事務的な負担量が最少になると思われる



(本学の現状に照らして)外部委託が適当と判断し試算

学内に常設保育所を設置した場合(いくつかの条件) 1200万円/年 程度の運営費が必要



総合支援策

- ・乳幼児および学童について、民間保育施設等からの送迎と預かりの支援を行う
- ・利用者宅またはサポーター宅で預かりの支援を行う
- ・「一時預かり」の施設を利用して、学内での預かり支援を可能にする



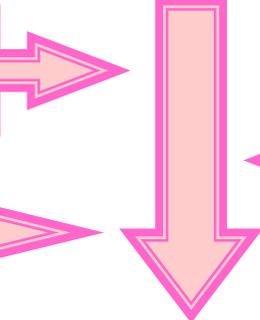
子育て支援システムの構築

教職員対象のアンケート(平成18年2月)



二次保育や休日保育、緊急時保育を重点的に
個人の多様なニーズ(時間・場所・状況)に応じた
きめ細やかな育児支援を実施

業者と共に子育て支援ソフトの開発

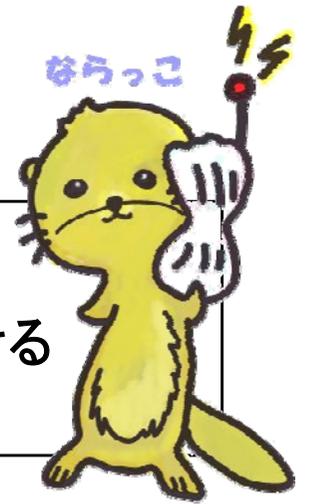


自治体や民間の育児支援グループと連携

学内支援施設の充実

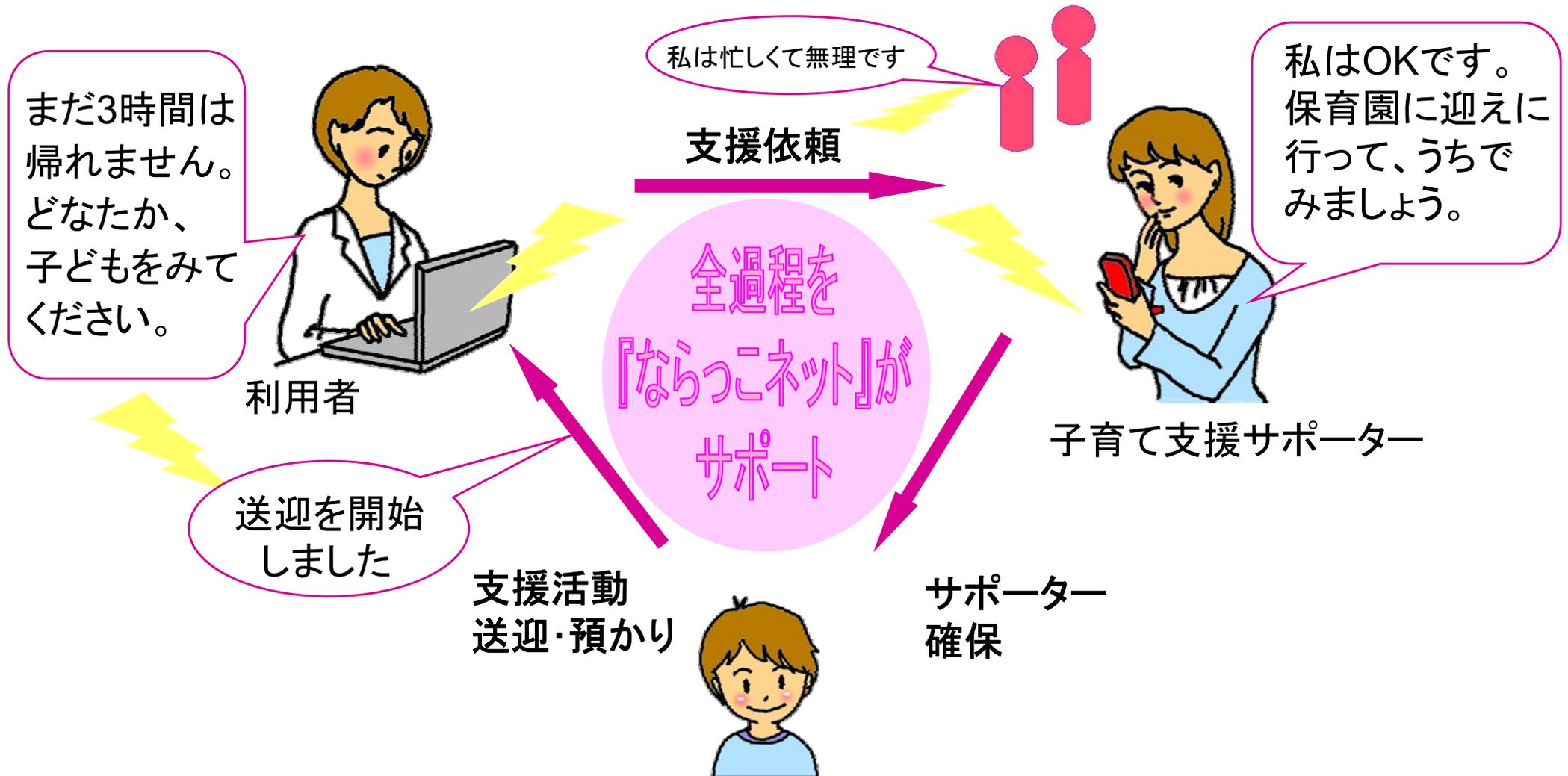
- ・webシステムの構築
 - ・人材ネットワークの構築
 - ・ハード面での連動策
- 緊急の育児支援の要請に応えるソフトの開発
地域住民、教職員、院生、学生など
学内の子育て支援室・授乳室の設置・拡充

子育て支援システムの概要



Webシステム『ならっこネット』

- PCや携帯電話を利用して、
 - ・急な支援依頼を確実にサポーターに届ける
 - ・利用者が支援状況を随時確認できる



子育て支援システムの実際(1)

登録

利用者・サポーターがそれぞれ登録する

利用者

サポーター

満3ヶ月～
小学6年生

利用できる
子ども



奈良女子大学職員
学生・事業本部で承認された者



- ・養成基礎講座修了者
- ・看護師・保育士など
有資格者



ひもつけ

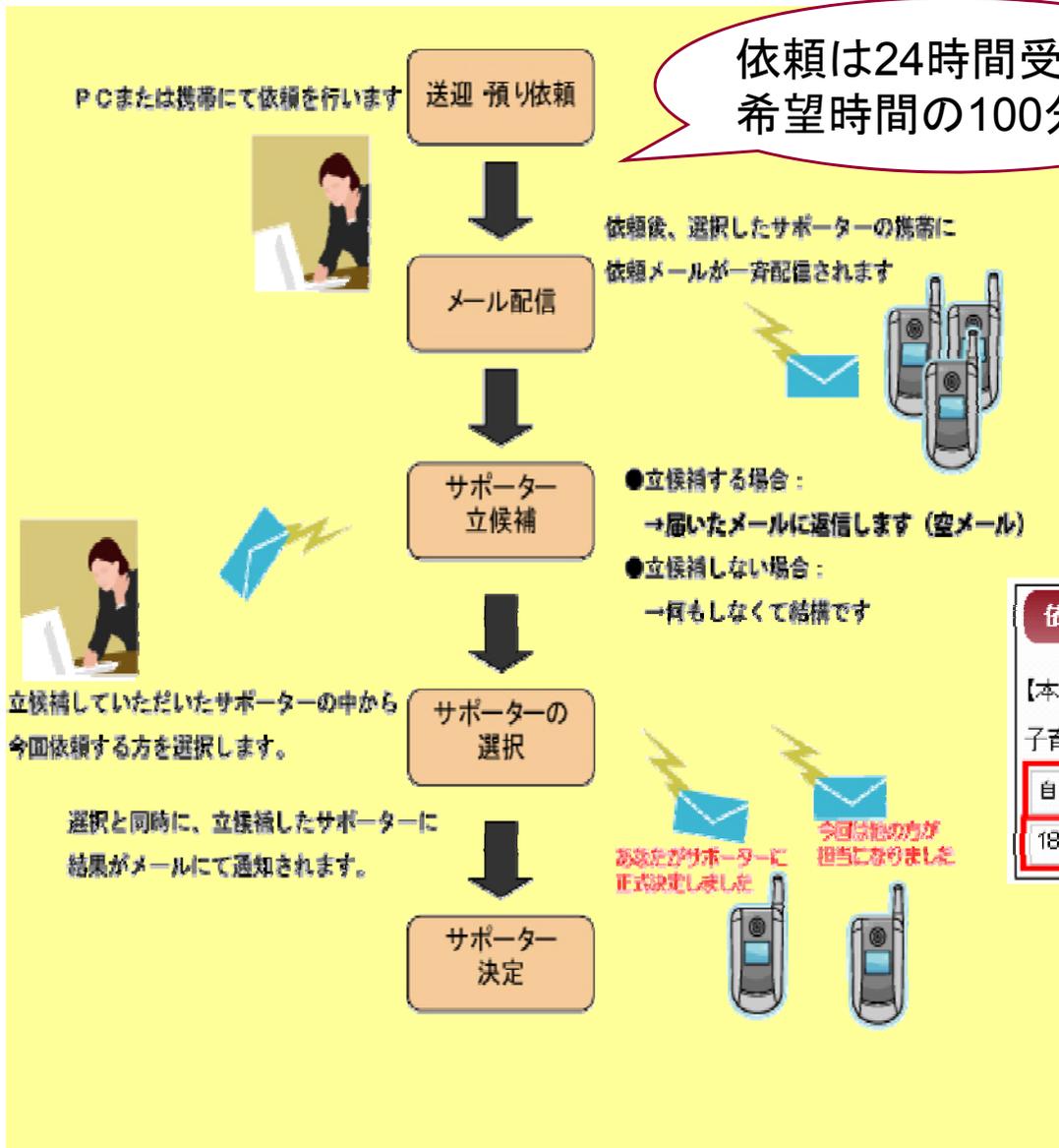
システムコーディネーターが
利用者の要望に添った
複数のサポーターを選出する
↓
三者の面接により、詳細を決定する

ひもつけのための面接の様子→

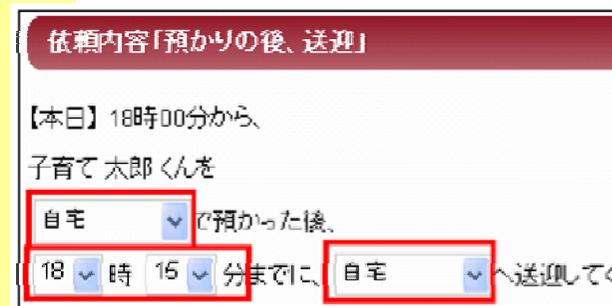


子育て支援システムの実際(2)

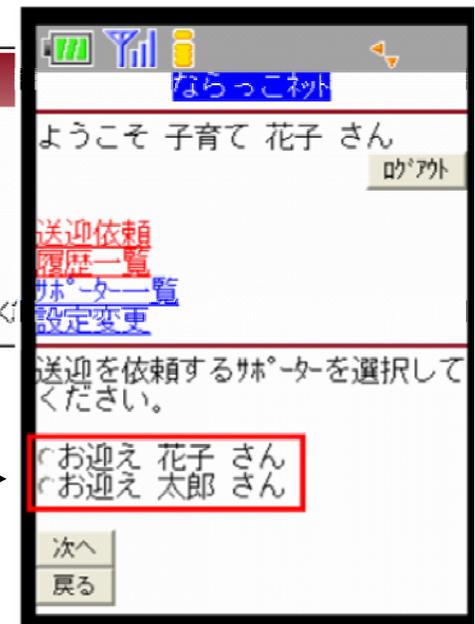
支援依頼～サポーター決定まで



依頼は24時間受付
希望時間の100分前まで



支援依頼中の画面



子育て支援システムの実際(3)

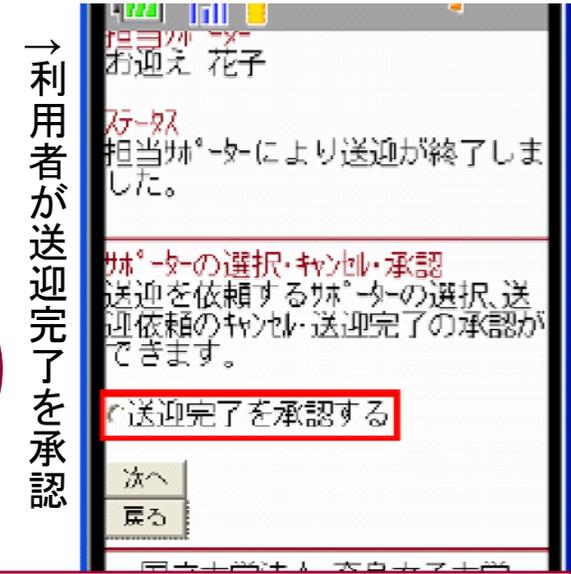
支援開始スタンバイ～終了まで

〈利用者〉

〈サポーター〉



↑ 利用者が送迎の状況を確認



→ 利用者が送迎完了を承認

支援時間:
7:30~22:00
(宿泊含まず)

報告書への記入
経費支払い

↓

平日9-18時 700円/時
それ以外 800円/時
+実費

利用者は毎月報告書提出

様々な事態への対応

ならっこネットを使わない場合への対応

・・・事前報告書(FAX・メール可)を提出し、電話などで個人間で連絡を取る

急な依頼 ・ サポーターが携帯電話を持たない場合

深夜・早朝 ・ ならっこネットがシステムダウンしたとき など

支援活動へのバックアップ

管理者対応・・・コーディネーターが直接サポーターを探す

あるいは臨時にサポーターを代行する

支援1時間前になってもサポーターが見つからないとき

長期休暇中で、ひもつけサポーターが不在のとき など

緊急対応・・・事業本部が個別に対応

支援開始直前にサポーターがキャンセルしたとき

支援中の事故・不測の事態 など

保険への加入

サポーターへの傷害保険 賠償責任保険 児童傷害保険

子育て支援サポーターの養成

サポーター養成基礎講座

毎月開講

子育て支援の基礎(90分)＋子育て支援システムの説明

受講後、希望者のみサポーター登録

サポーター養成ブラッシュアップ講座

毎月1講座開講、今年度は計8講座開講予定

専門家による講義(90分)＋ベテランシッターによる助言指導(茶話会形式)

サポーター他、一般参加可

(一般参加者が関心をもち、基礎講座へ参加したケースもあった)

昨年度までの養成講座

平成18年度:11～12月開講 計17講座

平成19年度:8月開講 計11講座

1日2講座(90分×2)を連続しておこなう形式

受講後、希望者のみサポーター登録



子育てサポートの基礎が学べます

国立大学法人奈良女子大学・女性研究者支援モデル育成事業
平成20年度『子育て支援システム』

サポーター養成基礎講座

受講生募集中

開催日: 7/24・9/25・10/23・11/27・12/18(木)

会場: 奈良女子大学附属図書館2F視聴覚室
時間: 13:00~14:30

8月はありません

受講料無料

サポーターって何?

本学の教職員や学生の子育て支援(担当のお子さんの送迎や預かり)を行う有償ボランティアです。



ならっこネットって?

携帯電話やパソコンを用いて、web上で支援の予約などの手続きを行うシステムです。当日の依頼が可能で、手続きが簡単、というメリットがあります。

毎日何かと忙しいけど...

数人のサポーターさんで一人のお子さんを支えますから、忙しいときに無理して支援する必要はありません。できる範囲で協力をお願いします。

この4月から、奈良女子大学の子育て支援システム(ならっこネット)が始まりました。このシステムを通じて、研究・勉強と子育ての両立に頑張っている本学の方に、必要なときに、必要な支援を届けています。支援を行ってくださるサポーターとして、すでに大勢の方に登録いただいておりますが、安定した支援の為にさらに多くの方の協力が必要です。あなたも空き時間を使って、支援ネットワークに参加してみませんか。

まずは養成講座を受講、
受講後希望者のみサポーター登録!
ブラッシュアップ講座もどうぞ

裏を見てね!

申し込み方法

開催日の前日までに、メール/電話/Faxで、住所・氏名・連絡先(本学の学生は所属も)を添えて、事業本部へお申し込み下さい。受付後、折り返し連絡いたします。

お申込み・お問い合わせ先

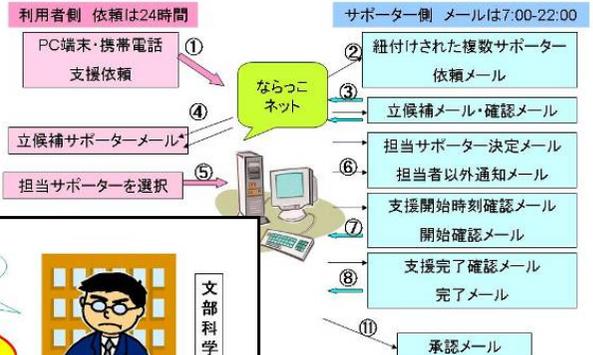
奈良女子大学 女性研究者共助支援事業本部
〒630-8506 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学H棟404号室
Tel / fax 0742-20-3344 Email: shien@cc.nara-wu.ac.jp

子育て支援規約からの抜粋

- ・内容 送迎と預り(宿泊を伴わない)
- ・対象 本学関係者の満3ヶ月から6年生の子供
- ・支援時間 7:30~22:00 (ならっこネットの利用時間は8:30~21:00)
- ・預り場所 大学、利用者宅、サポーター宅
- ・有償ボランティア
平日9~18時 1時間につき 700円
それ以外の時間(早朝・夜間・土日祝日・大学休業日) 1時間につき 800円
- ・次の保険を契約しています
①会員傷害保険...サポーター本人が、事故により傷害を被った場合の補償です。
②賠償責任保険...サポーターが活動中に発生した賠償責任の補償です。
③第三者責任保険...サポーターが活動中に発生した第三者に対する賠償責任の補償です。

本システム紹介 パワーポイントから

ならっこネット メールの流れ



女性研究者が諦めてしまうのは国の損失だ。支援のためのアイデアを募集しよう。

「何とかしたい」という思いが一つになりました



文部科学省



支障システムを
作りたが、
資金が...

両立でき
ません。

提案 採択

3年間で、他大学の手法となるモデルを作ってください。

文部科学省科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成『生涯にわたる女性研究者共助システムの構築』



子育て支援の基礎 講義中

サポーターでないあなたもどうぞ！そして、サポーターに興味をもったら...裏を見てね！

国立大学法人奈良女子大学・女性研究者支援モデル育成事業

平成20年度『子育て支援システム』

サポーター養成ブラッシュアップ講座

奈良女子大学子育て支援サポーター養成基礎講座に引き続き、ブラッシュアップ講座が始まります。子育て支援サポーターのための講座ですが、一般の方の参加も大歓迎です。子育てのヒント、健康・病気の知識、子供たちの現状など、今の、未来のあなたに役立つ情報を、専門家の先生方がわかりやすくお話させていただきます。各講座自由にご参加下さい。

日時・会場	演題・講師
7月28日(月) 13時 奈良女子大学附属図書館視聴覚室	『助産師として思うこと』 (お産や乳児のケアについて学びます) 平岡 とみ代 (社)日本助産師会奈良県支部助産師 *急患が生じた場合、休講になります
8月27日(水) 13時 奈良女子大学A棟理学部会議室	『秋から冬にかけての子供の感染症:インフルエンザとロタ胃腸炎を中心に』 久保田 優 奈良女子大学生生活環境学部教授
9月10日(水) 13時 奈良女子大学附属図書館視聴覚室	『認可外保育施設の現状(二次保育を行っている現場から)』 森田 一雄 奈良こども館 館長
10月15日(水) 13時30分 奈良市防災センター	『子どもの応急手当』 (子どもを中心に、大人の手当でも学びます。この講座のみ3時間です。講習後、修了証が発行されます。要申込み)
11月17日(月) 13時 奈良女子大学附属図書館視聴覚室	『安全に楽しくサポート!!』 (ベテランサポーターさんに体験談をお話いただきます) 矢野 和世 子育て支援グループ ラ・メルママ 代表
12月18日(木) 14時40分 奈良女子大学附属図書館視聴覚室	『お母さんをパワーアップする子育て支援』 岡 留美子 精神科医・岡クリニック院長
1月16日(金) 14時40分 奈良女子大学附属図書館視聴覚室	『支援者としての適切な親・子への接し方』 工藤 充子 NPO法人まっとスペースゆう 代表
2月13日(金) 14時40分 奈良女子大学附属図書館視聴覚室	『親離れ・子離れ(一人で歩き出すということ)』 近池 操 奈良県立医科大学非常勤講師

講義90分 + ベテランシッターによる助言指導 一般参加歓迎

- 7・8月の講座について、お子様連れの参加をご希望の方は、あらかじめご連絡下さい。
- 10月15日の『子どもの応急手当』は奈良市防災センターで行います。詳細はお問い合わせ下さい。
- やむをえず講義予定が変更になることがあります。
- 詳細は事業本部にお問い合わせ下さい。

お茶を
楽しみながら、
体験談をうかがったり
悩み事の相談も

受講料無料

空席があれば当日参加できますが、なるべく事前にお申し込み下さい
お申し込みは、メールまたはtel/faxにて、事業本部まで

裏を見てね!



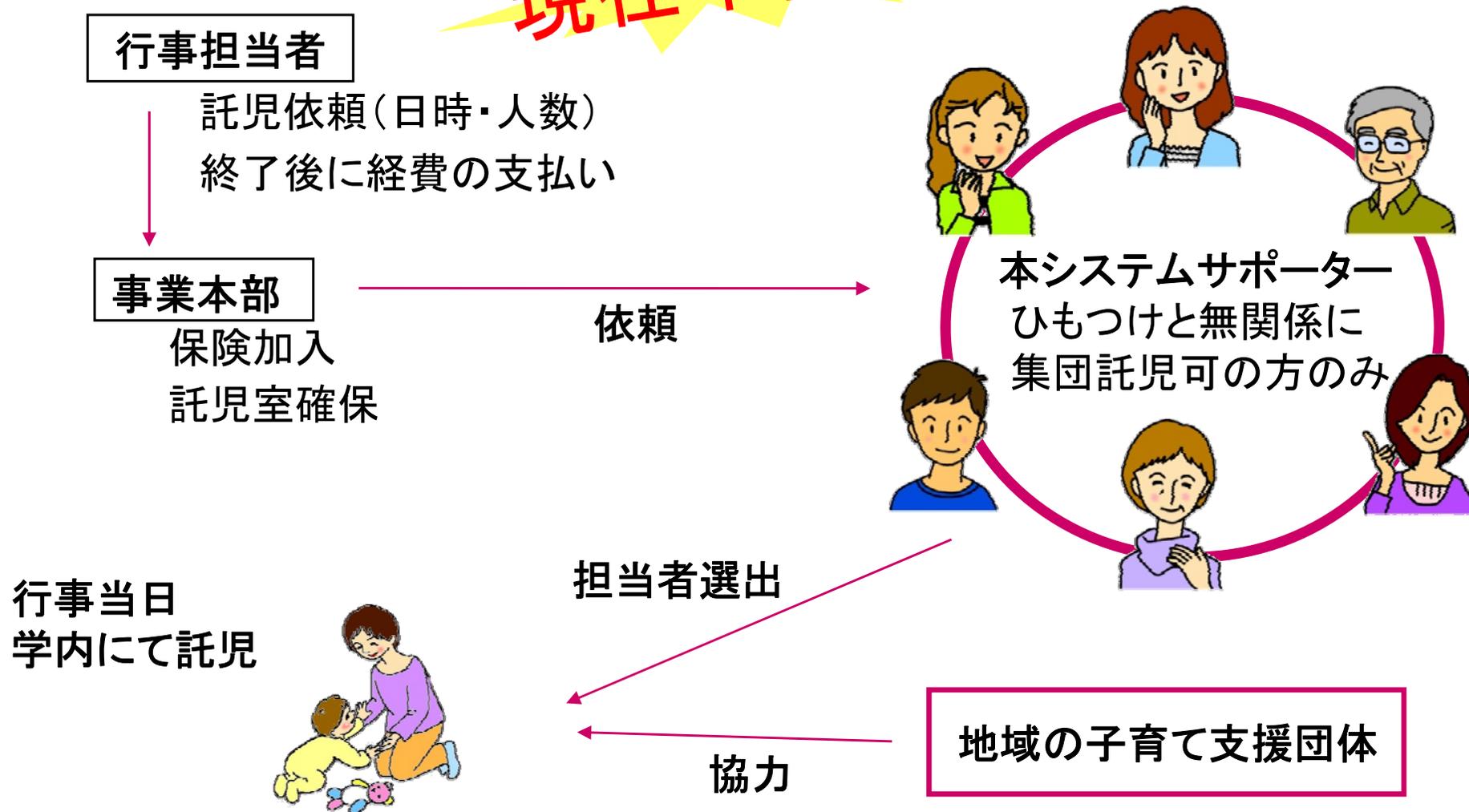
子どもの応急手当講座



ベテランシッターを囲んで

本学主催行事中に開設する臨時託児室の設置

現在準備中



学内関連施設の整備



学内での預かり
 現在、託児専用室はない
 学生会館の和室を利用

子どもの滞在に備えて
 オムツ替え用のベッド設置
 多目的トイレに子供用便座設置
 浄水器(ミルク用)を設置
 AEDの子どもへの利用法



の周知
 学内の子供用設備利用マップ
 (作成中)



子どもの心肺停止の原因の第一位は、食べ物による窒息です
 心肺停止時には、**AED**が有効です
 奈良女子大学には**AED**が設置されています



子どもに**AED**を使うには?



AEDは、心臓を電気ショックで正常なリズムに戻す装置です。使用の方法は音声により案内されますが、一読講習を受けておく安心です。心肺停止時にAED以外の対応を誰も必要とするので、その点からも講習への参加をお勧めします。奈良市防犯センターでは、定期的に定員半自動講習を開催しています。子ども向けの講習も取りますが、大人向け講習にも必ず参加が望ましいです。なお、奈良女子大学に設置しているAEDの取り扱いについては、メーカーのホームページ上で検索ができます。こちらも是非ご覧ください。(社会で検索できます)

奈良市防犯センター
<http://p56wax.ac.nara-net.jp/narabou/index.html> 電話:0742-386-1106
 日本赤十字会ホームページ
<http://jshwax.ac.nara-net.jp/narabou/index.html>
 『AEDの使用方法』(2分) 『詳細説明』(8分) 『AEDの持ち運びの手順』(1分)
 つが電子ホームページ
<http://www.tsgs.co.jp/aed/index.html> (本学には「ファーストFR2」という機種が設置されています)

奈良女子大学女性学術科研究支援事業本部
 〒630-8508 奈良市名倉町 奈良女子大学 4階04 TEL/FAX 0742-20-3344 e-mail shien@cc.nara-wu.ac.jp

幼児用便座設置トイレ

小さな子どものための
 簡易便座と踏み台が
 あります



お子様連れの方はご利用ください

コラボレーションセンター1F多目的トイレ

両立支援のための 相談窓口の開設・情報の提供

●母性支援相談室

・母性支援カウンセラー

女性教職員・学生の健康相談

育児・介護などへの相談を担当

●本大学規定をわかりやすくまとめた

出産・育児及び介護に関する

リーフレットの作成など

あなたの元気をサポートします

こここのところ体調がイマイチ・・・
なんだか気になるな

そろそろ子どもが巣立いけど、
研究と両立できるか心配

いきなり親の介護が、
どうしたらいいの？

誰にでもライフステージごとに様々な心配ごとが
起こります。一度専門家に相談してみませんか。

ご来室下さい。予約していただくと、お待たせしません。

	月	火	水	木	金
Open	助産師 介護認定審査員 松井文子 (予約優先) <専門分野> 育児・介護	コーディネーター 今西知子	産婦人科医 島本郁子 (予約制)	お休みです！	コーディネーター 今西知子 (予約制)
PM 1 5 時	女性の健康について 学びませんか？	予約なしで、 気軽に お越し下さい	火・水・金曜日に なるべく予約を 取って下さい		予約なしで、 気軽に お越し下さい

場所：H棟4Fリフレッシュコーナー

予約・連絡先 (担当:今西)
tel/fax: 0742-20-3898 (内線3898)
e-mail: bosei-sodan@cc.nara-wu.ac.jp

予約時に、連絡先・相談
希望日をお知らせ下さい。 **秘密厳守**

母性支援相談室

この事業は『生涯にわたる女性研究者共助システムの構築』に基づいて実施されています



女性外来専門医による
女性の健康相談の様子

国立大学法人 奈良女子大学

国立大学法人奈良女子大学
出産・育児・介護に関する規定

「国立大学法人奈良女子大学職員の労働時間、休暇等に関する規程」

「国立大学法人奈良女子大学に勤務する非常勤職員（短時間勤務職員）
の労働時間、休暇等に関する規程」

より

今後の課題

- 利用者数増加のための方策
- 多目的室(子育て支援室)の設置
- 臨時託児実施体制
- 来年4月以降の体制